

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>【第1学年】 ○ひらがなの定着が進み、簡単な文が書けるようになった。 ○一位数同士の計算はほぼ定着している。 ▽拗音、促音や「は」「を」「へ」といった助詞の確実な定着には至っていない。 ▽問題文を読む力が弱いため、解答を間違えていることがある。</p> <p>【第2学年】 ○文章を読んで内容の大体を捉え、分かったことや考えたことを友達と大まかに伝えられるようになってきた。 ▽文章で表現するとき、内容が短かったり誤字脱字や句読点が正しく使われていなかったりして伝わりにくいことがある。</p> <p>【第3学年】 ○算数科の診断テストの結果、上位層の力がついてきて、平均点も上がっている。個別指導を丁寧に行った成果が出てきている。 ▽自分の考えを文章に書き表せない児童が多くいる。また、ひらがなや漢字を正確に覚えていない児童も一割程度いる。</p> <p>【第4学年】 ○国語科の学習では、登場人物の気持ちや筆者の主張を読み取れるよう、文章表現に注目させたり、多くの文章に触れたりする機会を設けることで、読解力の向上が見られた。 ▽算数科の学習では、ノートに自分の考えをまとめたり、自分の考えを全体場で表現したりすることに課題が見られる。</p>	<p>【第1学年】 ●意図的な文を書く機会を継続し、ノートなどに文章や式などを書く活動を積極的に行う。 ▼ICT 機器を活用した練習問題や宿題を通して、個人の学力定着を図る。 ▼文章を読む力を高めるため、読書活動の推進を図る。</p> <p>【第2学年】 ●自分の考えをより詳しく伝えられるように、適宜話し合いの場を設ける。また、音読練習を通して文章に触れる機会を多く設定していく。 ▼週末の日記や作文指導を継続して行う。また、児童自身が自分で書いた文章を読み返して間違いを正す等の活動を取り入れていく。</p> <p>【第3学年】 ●算数少人数の時間では、児童の学習状況や習熟度に合わせ、個に応じた指導を継続していく。 ▼文章化が苦手な児童には文型を提示し、それに沿って文章を書き表す経験を積ませ、達成感を覚えさせるとともに順序立てて文章に書き表す力を高める。 ▼漢字テストを週に2～3回行い、既習の漢字を繰り返し書いて覚えられるようにする。また、間違えた漢字を丁寧に練習に取り組みせることで定着を図る。</p> <p>【第4学年】 ●語彙を獲得する機会や、人物像の読み取り方を確かめたりする経験を増やし、今後も繰り返し指導を重ねながら定着を図る。また読書活動を増やすとともに、本に興味をもてるよう読み聞かせなどの活動を取り入れていく。 ▼全体で共有をする前に、少人数での話し合い活動や画用紙等に記入して掲示する方法などを取り入れていく。またノート指導や授業内で称賛する場面を増やし、自分の考えに自信をもって学習に参加できるようにしていく。</p>

<p>【第5学年】</p> <p>○算数科の学習において自分の考えを全体で表現することが苦手な児童が多いが、小グループで意見を伝え合う活動や、ミニホワイトボードに書くようにすることで、伝えたい内容を整理し、掲示したり、伝え合えたりすることができている。また、ノートにも自分の考えをうまく表現できている児童が増えてきた。定期的にノートを評価することで、ノート指導の成果が上がってきている。</p> <p>▽国語科の学習において文章を書くことを苦手としている児童が多く、語彙力が児童によって大きく差がある。また、漢字を丁寧に書こうという児童が見られる一方、字形を整えて書くことに課題のある児童が多くいる。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○国語科「書くこと」の指導において、一人1台端末の文書作成ソフトを活用することで、文章の構成や展開について力を付けている。</p> <p>△7月の算数科の診断テストの結果、4月に比べ全体的に学力の低下が見られた。既習事項を定着させる必要がある。</p>	<p>【第5学年】</p> <p>●算数少人数を効果的に活用し、児童の実態に応じた学習班で考え方を共有し、協働的に課題解決できる学習活動を設ける。</p> <p>▼教科書本文や例文等を活用し、目的や意図に応じて事実や感想、意見を区別して書くことを指導する。また、定期的に言語事項の学習の場を設けていく。</p> <p>【第6学年】</p> <p>●引き続き、一人1台端末を活用しながら、「書くこと」の力を身に付けさせていく。また、より主体的に学習に向うよう、児童が学習形態を選べるような工夫も行う。</p> <p>▼朝学習等の時間を活用し、定期的に既習の単元について小テストを行うなどして定着を目指す。</p>
--	---

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
【第1学年】	●
【第2学年】	
【第3学年】	▼
【第4学年】	
【第5学年】	
【第6学年】	